

平成31年度予算に見る主要事業

都市環境分野・・・

都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ◆ J R刈谷駅の混雑を解消し、安全性の確保及び利便性の向上を図るため、J Rが行う駅ホームの拡幅、ホームドアの設置等を支援。
- ◆ 小垣江町に伊勢山公園を整備することにより、子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場などを提供し、良好な生活環境を創出。



ワークショップでの意見を反映し、公園全体を見渡せる中央に休憩施設を設置

教育文化分野・・・

生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ◆ 児童・生徒の読書量の向上を図るため、学校司書を6中学校すべてに1人ずつ配置し、それぞれの中学校区の小学校を巡回。
- ◆ 歴史や文化財に触れる機会を提供するため、企画展を開催し、さまざまな歴史資料を展示することにより、刈谷の歴史を紹介(歴史博物館)。



初代刈谷藩主 水野勝成展 裏楽楽銭紋黒熊毛二枚胴具足(福山市賢忠寺蔵)

産業振興分野・・・

人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

- ◆ 全国高等専門学校ロボットコンテストを開催することで、「ものづくりのまち刈谷」をアピールするとともに、次代を担う子どもたちを育成。
- ◆ 刈谷佐佐美地区において、周辺の優良農地との共存を図りながら、新たな産業集積を促す一団の工業用地整備を推進。



第2期開発検討区域における調査検討

福祉安全分野・・・

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ◆ 認知症等によるはいかいにより事故等を起こす可能性のある高齢者や家族の損害賠償の負担軽減を図るため、市が一括して保険に加入。
- ◆ 災害発生時のトイレ不足を解消するとともに、衛生的な環境を確保するため、避難所を受け入れる学校施設にマンホールトイレを順次整備。



感染症による災害関連死等を防ぐ

- ◆ 母親が安心して育児ができるよう、出産後4か月未満の母子を対象に、医療機関に宿泊し心身のケアや保健指導を受けられる支援体制を整備。
- ◆ 待機児童の解消を図るため、民間事業者が行う認可保育園の建設に対し、建設費等を補助。建設予定園は2園(銀座、小垣江)。



民間保育園を2園開園し、待機児童解消を図る

計画推進分野・・・

市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

- ◆ 無料Wi-Fi環境を公共施設に整備することにより、利用者の利便性向上を図るとともに、本市の魅力をも効果的に情報発信。
- ◆ 男女共同参画社会の実現に向けた会議「日本女性会議2020あいち刈谷」の実行委員会が実施するPRイベント等に対して補助。



日本女性会議2020あいち刈谷に向けた市民参加によるワークショップ

平成31年度予算関係

平成31年度予算は、本会議での質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会で審査されました。

本会議での質疑

質問・質疑では、市政の方針などを問いました。

本会議での質問・質疑については、6～8ページの「質問・質疑」をご覧ください。

委員会・分科会での審査

質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

18日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療・介護保険の各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の計6議案に対し、反対の意見が多数でしたが、採決の結果、賛成多数によりいずれも原案のとおり可決されました。

22日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論が行われました。討論では、マイナンバー制度を廃止すべきという立場であること、消費税増税の予算が含まれていること、刈谷城築城に関する予算が含まれていること、後期高齢者医療制度を廃止すべきという立場であることなどにより反対の意見が出されましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。



市の情報をアプリで手軽に

消防団員活動支援事業
消防団員に対し、準中型免許の取得費用の一部を補助することなどが、現在、ポンプ車を運転できる免許を取得していない団員は何人いるのか。
本市の消防団員は、平成30年4月1日現在352名で、そのうち、ポンプ車を運転でき

る免許を所持していない団員は34名である。
補助申請の手続きの流れは、まず自動車学校に入校する前に、市の承認を受け、その後、自動車学校に入校し、免許取得した後、補助金の交付申請をしていただき、補助金の交付を受けることとなる。

福祉産業
高専ロボコン2019東海北陸地区大会開催事業
大会の概要は、

「アイデア対決、全国高等専門学校ロボットコンテスト」は、若い人たちが、既成概念にとらわれず、みずからの頭で考え、ロボットをつくる。その体験を通じて、発想することの大切さ、物づくりのすばらしさを仲間と共有することを目的とした全国規模の大会で、本年は、10月20日にウイングアリーナ刈谷で開催をする。

刈谷市で開催することになった経緯は、

2019年度は、豊田工業高等専門学校が当番校として大会を運営するが、本市が県内有数のものづくりのまちであること、施設の規模から、共催という立場で大会に携わることになった。

整備スケジュールは、

平成29年度から一般県道刈谷大府線側から本体工事に着手しており、2019年度に予定しているJ R東海との調査協定締結を踏まえ、順次、橋梁工事に着手し、2026年度の完了を目標に整備を進めていく。

今後のスケジュールは、

2019年度に実施設計、2020年度に建設工事と駐車場の整備、2021年度に現在の清掃センターの事務所棟と車庫を解体する予定である。

J R調査協定委託の内容は、

市道01-40号線他道路新設改良事業

市道01-40号線道路新設改良事業計画に伴い、東海道本線逢妻-大府間に新設する跨線橋について、本市で実施した設計をもとに、列車運転保安等を考慮した施工計画の照査をJ R東海に委託するものである。委託する主な設計内容は、線路直近の橋脚及び桁架設工事を安全に施工するための施工計画検討である。

整備スケジュールは、

平成29年度から一般県道刈谷大府線側から本体工事に着手しており、2019年度に予定しているJ R東海との調査協定締結を踏まえ、順次、橋梁工事に着手し、2026年度の完了を目標に整備を進めていく。

今後のスケジュールは、

2019年度に実施設計、2020年度に建設工事と駐車場の整備、2021年度に現在の清掃センターの事務所棟と車庫を解体する予定である。

J R調査協定委託の内容は、

市道01-40号線他道路新設改良事業

市道01-40号線道路新設改良事業計画に伴い、東海道本線逢妻-大府間に新設する跨線橋について、本市で実施した設計をもとに、列車運転保安等を考慮した施工計画の照査をJ R東海に委託するものである。委託する主な設計内容は、線路直近の橋脚及び桁架設工事を安全に施工するための施工計画検討である。

整備スケジュールは、

平成29年度から一般県道刈谷大府線側から本体工事に着手しており、2019年度に予定しているJ R東海との調査協定締結を踏まえ、順次、橋梁工事に着手し、2026年度の完了を目標に整備を進めていく。

清掃センター移転新築事業

現在の清掃センターは昭和51年に建築したもので、築43年を迎えている。施設の劣化度調査により、建物内部や給排水設備が老朽化していることが判明している。し尿処理を行う環境センターの効率的な管理運営等も踏まえ、移転新築をする。

環境センターの北側にある多目的広場に事務所棟とごみ収集車の車庫棟を建設予定である。

今後のスケジュールは、

2019年度に実施設計、2020年度に建設工事と駐車場の整備、2021年度に現在の清掃センターの事務所棟と車庫を解体する予定である。

J R調査協定委託の内容は、

市道01-40号線他道路新設改良事業

市道01-40号線道路新設改良事業計画に伴い、東海道本線逢妻-大府間に新設する跨線橋について、本市で実施した設計をもとに、列車運転保安等を考慮した施工計画の照査をJ R東海に委託するものである。委託する主な設計内容は、線路直近の橋脚及び桁架設工事を安全に施工するための施工計画検討である。

整備スケジュールは、

平成29年度から一般県道刈谷大府線側から本体工事に着手しており、2019年度に予定しているJ R東海との調査協定締結を踏まえ、順次、橋梁工事に着手し、2026年度の完了を目標に整備を進めていく。

今後のスケジュールは、

2019年度に実施設計、2020年度に建設工事と駐車場の整備、2021年度に現在の清掃センターの事務所棟と車庫を解体する予定である。

J R調査協定委託の内容は、

市道01-40号線他道路新設改良事業

市道01-40号線道路新設改良事業計画に伴い、東海道本線逢妻-大府間に新設する跨線橋について、本市で実施した設計をもとに、列車運転保安等を考慮した施工計画の照査をJ R東海に委託するものである。委託する主な設計内容は、線路直近の橋脚及び桁架設工事を安全に施工するための施工計画検討である。

整備スケジュールは、

平成29年度から一般県道刈谷大府線側から本体工事に着手しており、2019年度に予定しているJ R東海との調査協定締結を踏まえ、順次、橋梁工事に着手し、2026年度の完了を目標に整備を進めていく。

今後のスケジュールは、

2019年度に実施設計、2020年度に建設工事と駐車場の整備、2021年度に現在の清掃センターの事務所棟と車庫を解体する予定である。

J R調査協定委託の内容は、

市道01-40号線他道路新設改良事業

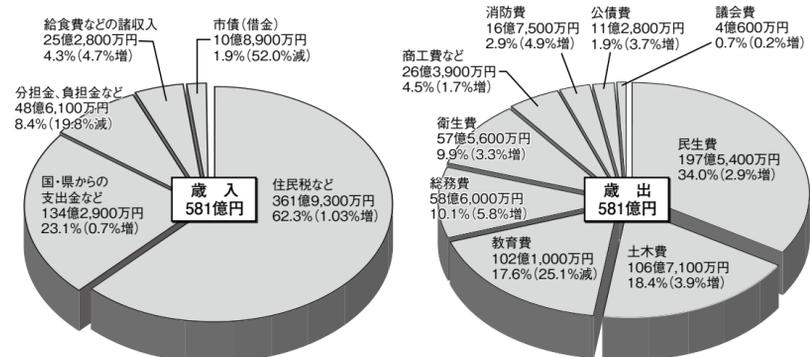
市道01-40号線道路新設改良事業計画に伴い、東海道本線逢妻-大府間に新設する跨線橋について、本市で実施した設計をもとに、列車運転保安等を考慮した施工計画の照査をJ R東海に委託するものである。委託する主な設計内容は、線路直近の橋脚及び桁架設工事を安全に施工するための施工計画検討である。

整備スケジュールは、

平成29年度から一般県道刈谷大府線側から本体工事に着手しており、2019年度に予定しているJ R東海との調査協定締結を踏まえ、順次、橋梁工事に着手し、2026年度の完了を目標に整備を進めていく。

一般会計の内訳

()内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特別交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金
 〈分担金、負担金などの内訳〉 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金
 〈商工費などの内訳〉 労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

31年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	920億1,400万円	▲9億7,200万円	▲1.0%
一般会計	581億円	▲18億1,000万円	▲3.0%
特別会計	239億9,500万円	10億8,800万円	4.8%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	12億5,000万円	5億600万円	68.0%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億2,000万円	1,300万円	11.8%
国民健康保険	119億5,700万円	▲5,700万円	▲0.5%
後期高齢者医療	19億500万円	9,300万円	5.1%
介護保険	87億6,300万円	5億3,400万円	6.5%
企業会計	99億1,900万円	▲2億5,100万円	▲2.5%
水道事業	38億8,700万円	▲3,100万円	▲0.8%
下水道事業	60億3,200万円	▲2億2,000万円	▲3.5%

※百万円単位で四捨五入しています

わが家の地震対策事業

過去3年間のブロック塀等撤去費補助申請のうち、通学路や避難道路沿道の申請件数は、

平成28年度は17件中10件、29年度は23件中11件、30年度は2月末時点で67件中34件である。

地区と連携して実施したブロック塀等の所在地調査の結果はどのようなものだったか。

昨年9月に、市内23地区に対してブロック塀の所在地調査依頼を実施した結果、約4,000カ所において高さ1メートルを超えるブロック塀が道路沿いにあることを確認している。現在は、この報告をもとに、ブロック塀の点検を順次実施している。点検結果が不適格となったブロック塀の所有者に対し、注意喚起や補助制度の案内などを実施している。

市民文教

産後ケア事業
産後ケア事業では、安心して子育てができるよう、出産直後に支援を必要とする母子が、医療機関に宿泊し、身体的及び心理的ケアや保健指導を受けられる。利用人数の見込みは、

近隣で実施をしている自治体の実績を参考に、月に1人、年間12人の利用を見込んでいる。

日本女性会議開催事業

男女共同参画社会の実現に向けた国内最大級の会議である日本女性会議を、刈谷市で開催することとなった経緯は、

男女共同参画のさらなる推進を目指し、市制施行70周年の節目に当たる2020年度に日本女性会議を誘致することとした。平成29年9月に、2019年度開催地である栃木県佐野市より指名を受けた、刈谷大会の開催が決定した。

事業費のうち、554万円は、刈谷大会実行委員会に対する補助金となっている。その主な内容は、10月の佐野大会における刈谷大会のPRに係る経費と、11月の刈谷大会プレイベントの開催費用である。また、2020年度本大会の総事業費は、試算で、3,500万円から4,000万円と見込んでいます。これを市からの補助金、企業からの協賛金、参加者からの負担金などで賄う予定である。



地震に備え、早めの耐震改修を



不安な気持ちに寄り添います